

## 海事科学に関する高度な研究テーマを追究する

基礎分野を理解し修得するには、相応の時間と努力が必要です。学部では基盤を固めた上で、先生や先輩の協力を得ながら4年次に卒業研究を行います。研究本来の醍醐味を実感し、自身の研究テーマを追究できるのは大学院博士課程前期課程からです。本学部では事実上、学部・研究科の6年間で基本とした教育体系を構築しており、修了後、数多くの企業から求められる人材を輩出しております。平成29年度から前期課程では、グローバル海洋理工学プログラム（横断型教育プログラム）も受けることができます。ここでは海事関連分野における理工学および社会科学の専門知識を複合的に身につける人材養成を行います。さらに各コースに英語提供科目群を設定し、履修要件に必要な科目の単位を英語で修得することができます。

大学院博士課程後期課程に進学すると、自分の力で計画を立て、自身の研究テーマを追究し、権威ある学術雑誌に英語で論文を発表するなど、高度な研究活動を行っていくことが可能です。



### 博士課程前期課程（標準2年／最短1年）

グローバル輸送科学コース

海洋安全システム科学コース

マリンエンジニアリングコース

グローバル海洋理工学プログラム

### 博士課程後期課程（標準3年／最短2年）

グローバル輸送科学コース

海洋安全システム科学コース

マリンエンジニアリングコース

#### ■主な就職先 （平成27年度実績）

##### （化学・石油）

旭化成／三菱樹脂／東洋ゴム工業  
（鉄鋼業・非鉄金属）  
神戸製鋼所／新日鐵住金  
（機械・プラント）  
三菱重工業／クボタ／ダイキン工業／  
住友重機械エンバイロメント  
（電気）  
パナソニック／三菱電機／東芝／  
村田製作所／オリンパス／富士通

##### （輸送用機器）

川崎重工業／本田技研工業／  
豊田自動織機／スズキ／ヤマハ／  
マツダ／デンソー／三井造船／  
日立造船／今治造船／  
ジャパンマリンユナイテッド  
（情報・通信）  
NTTデータ関西／TIS

##### （官公庁・その他）

国土交通省／海技大学校／  
四国運輸局／国立研究開発法人農  
業・食品産業技術総合研究機構食品  
総合研究所

#### ■在学生からのメッセージ



海洋ロジスティクス  
科学領域  
堂前 光司 さん

#### 学際性・国際性豊かな海事科学研究科という舞台で、 これからの国際輸送戦略を描く

本研究科では、「海」特有の専門科目はもとより、理工学系から社会科学系、あるいは情報系科目まで、非常に幅広い学問分野の科目が提供されています。私は、博士課程前期課程までは、工学的アプローチから、主に国際海運を対象とした研究に取り組みました。そして博士課程後期課程進学後は、日本学術振興会特別研究員として、経済学をベースに国際航空にも研究対象を広げ、いかに日本の国際輸送拠点の競争力を強化すべきかについて取り組んでいます。研究分野を横断する学際的研究が求められている現在、本研究科はそのパイオニアだと言えます。同時に、国際的な研究活動の必要性が大きくなっていますが、本研究科には、学生の学会発表を支援するバックアップ体制も整備されています。このように、本研究科には、時代の要請に先駆けて、学生の可能性を最大限に開花させる仕組みが整っています。

## 乗船実習科

### 船長や機関長に必要な海技免許を取得できるコース

幅広い教養と高度な専門性を身に付けた上で、海上貿易を主とした国際海事社会への進出をめざす、6か月間の乗船実習科を設置。海事科学部グローバル輸送科学科航海マネジメントコース、マリンエンジニアリング学科機関マネジメントコースで三級海技士となるために必要な所定の単位を修得して卒業すれば、引き続き乗船実習科に進学することができます（この場合、入学科は不要）。

乗船実習科を修了すれば、三級海技士国家試験の受験資格を取得することが可能です。修了生は、世界中の海・陸で活躍しており、国際海事社会から高く評価されています。



独立行政法人海技教育機構提供